



# ダメ！高齢者虐待

## 高齢者虐待への対応

平成18年4月に施行された『高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律』では、虐待を受けている高齢者だけでなく、養護者に対する支援も規定されています。

虐待の疑いがある事例に直面すると、養護者を加害者と捉えがちになりますが、長期間に及ぶ介護疲れによるストレスや、疾病に対する知識不足などが要因で、虐待につながっている場合があります。

また、介護について「親を施設に入れるのはおかしい。親の面倒は長男（子ども）が見るべき」などといった考えを持つている人も少なくありません。

そのような、地域や各世代に根付いている慣習などが、結果的に養護者に過度のストレスを与え、虐待につながっている場合もあります。

高齢者虐待への対応は、高齢者の安全確保を優先しますが、



その家族の事情を十分理解し、養護者の心理的・身体的負担の軽減を図れるよう支援します。

また、虐待の相談や対応は、家庭関係など複雑なものが多いことから、プライバシーについて十分配慮します。

### 『何かおかしい』

『どうしたらいいんだろう』  
『どう思ったら、お気軽に相談窓口ご連絡してください。』

### ▼高齢者虐待に関する相談窓口

- 高齢・介護グループ (☎855 720)、または地域包括支援センターあおい (☎8305 11)・ゆのか (☎882106)・「けいあい」(☎825 005)

人が輝き まちがときめく

## 仲間たち

Group

### 木彫サークルコスモス会

『木彫サークルコスモス会』は、以前に木彫りをしていた人たちが、眠っていた材料を完成させたいという思いから平成12年4月に5人で発足。発足したものの指導者がいなくなったため、現在の代表の宮武小夜子さんが木彫りの指導者免許（黒ばら会）を取得し会員の指導に当たっています。

発足から10年目を迎え、会員は徐々に増えて、現在60歳から75歳までの9人。市民会館の木工室を活動の拠点に第2・4火曜日の月2回例会を開催し、椅子やテーブル、鏡や箱、状差しなどのインテリアの製作に励んでいます。

「作品によっては多少時間の掛かる場合がありますが、一生懸命手間を掛けた物ほどかえって愛着がわき、出来上がりが楽しみでな



りません。実用的で身近なインテリアを製作しますので、無駄にならずわたしも長く愛用しています」と宮武さんは話してくれました。

また、「これからも会員の皆さんと身近な物をつくりながらいっしょに楽しみ、会員同士で技術を磨きながら活動を続けていきたいですね。少しお金も掛かりますが、興味のある方はご連絡ください」と入会を呼び掛けていました。

4年ほど前に人に聞き、入会した嶋津早苗さんは、「会の雰囲気は非常に良く、実用性のある物を自由に自分で選び、好きな作品を自分のペースで楽しくつくれます。月2回ほどの活動回数がちょうど良く、自宅での家事の合間にも手軽に出来ます」と話してくれました。

入会を希望される方は、宮武さん(☎855 4363)までどうぞ。



### 木のぬくもりを感じながら作品づくりを楽しんでいます